



today's guest

ザスパ草津

2009 J2 第10位  
J2通算対戦成績: 2勝1分3敗

2009成績  
第0節 09/03/25 岐阜 1-0草津  
第2節 09/07/22 草津 0-1岐阜  
第4節 09/10/17 草津 1-0岐阜

2010J2 順位表 第09節

(※は消化試合が1少ない)  
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

*1	柏	20p	+9	12	3
2	千葉	17p	+9	18	9 A
*3	甲府	16p	+7	15	8 H
4	大分	16p	+5	16	11 A
*5	徳島	16p	+3	14	11
6	熊本	15p	+1	10	9 A
*7	愛媛	14p	+3	7	4
*8	鳥栖	14p	+1	8	7
9	岐阜	12p	0	9	9 --- ---
10	横浜FC	12p	-2	11	13
11	水戸	12p	-3	6	9
12	福岡	10p	+4	13	9 A
*13	栃木	10p	+2	10	8
14	岡山	10p	-3	7	10
*15	札幌	08p	-8	7	14 H
*16	東京V	07p	-1	8	9 H
17	草津	07p	-7	6	13
18	北九州	06p	-8	3	11 A
*19	富山	06p	-13	8	21 H

次回 HomeGame

第1節  
柏レイソル戦

5/9(日) 13:00  
@長良川球技メドウ

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C 岐阜大好き通信(岐大通)  
5/2号  
編集発行: 『岐大通』製作委員会  
今号の製作担当: ささたく & 吉田 鏡造

編集子より  
ご愛顧いただきありがとうございます。  
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での飛行を目標にしますので、よろしくお願ひ致します。

『メドウ』開幕戦は苦い味に。  
岐阜 0-東京 V【第09節】

F C 岐阜は長良川メドウで東京 V と戦い 0 対 1 で敗戦。スタートから選手の動きが悪く思うような試合運びができず試合終了間際に点を取られての敗戦。どこが悪かったのかを考えて修正してほしい。サポーターが一丸となって F C 岐阜を盛り上げよう! F C 岐阜頑張れ! (ハマッチ)

いい所が全くと言っていいほどなくて、相手の方が勝利への執念を感じた試合でした。個の能力の高さもあったと思いますが、それを差し引いても最悪の内容で、終始イライラしていました。どこのチームでも調子を崩す時はありますが、今年からはそんな試合を減らしてほしいと思っています。(ブラウ@翠魂)

とうとう来ちゃったメドウでの。ホント、ピッチのサイズ以外はゴメンナサイ。ついでに、試合も前2戦がウソのような内容で……。うーん、ホームなのに、なんというか恐々とやっていたようにも思えてしまう。ヴェルディの方は悪コンディションの中、ピッチをいっぱい使ってパスを回し、時にドリブルや切り返しを駆使して縦への突破を試みる。これがここまで未勝利のクラブ?と思わせる試合運び。逆に言えば、これだけポゼッションができて、シュートが撃てない、決まらないのが今のヴェルディということか、と。時間だけは刻々と経過していくけれど、試合内容にはまったく変化がなく、「縦ポンのみじゃ、正吾の良さは活かないな。スコアレス・ドローなら御の字が……」、と思っていたけど、そこまで甘くなかったようです>サッカーの神様。

確かに「しょっぱい」「残念な」試合には違いない。とはいえ、自慢じゃないけど、この日以上のツラくて悲しい試合は両手の指じゃ足りないほど見てる(爆)。圧倒的な戦力、能力の前に、それでもぶつけていく気合いが空しくなるような試合。その気合いのかけらすらも感じられない無惨な試合。それから見たら、この日の試合は残念なだけ。双方の選手も戸惑うようなピッチ・コンディション。ホームの利を生かして、メドウでの練習、T Mを行ってから臨んでほしかったけれど、この教訓を次回以降に生かしてほしい。なんてたって、今季終了までつきあっていくスタジアムなんだから……。 (ぐん、)

3年振りに帰ってきたメドウ。選手と観客の距離が非常に近く、迫力のあるスタジアムであることは間違いない。しかし個人的な視点で言えば、メドウは0年、JFLで首位だった時に最下位の佐川印刷と対戦し完敗した場所。それ以来ウチは伝統的に、対戦相手が最下位にいると相性が悪い...と思う(苦笑)。チームは2連勝と調子が良いが、東京Vに今季未だ勝ち星が無いのが、逆に少し気になる。

さて当日...ピッチを見て絶句した。かなり芝の状態が酷い。最近の天候不順の影響だろうか、枯れて茶色くなっている部分も。オーバーシードやメンテナンスを見ていたから、もう少し良い状態かと思っていたが...試合への影響が不安になる。そして、残念ながら不安は現実のものとなってしまふ。荒れたピッチのためかボールが収まらない。パスの精度も悪く、前線に繋がらない。相手の方が勝利への執念が強いのかウチが油断しているのか、相手の方が詰めが速く、セカンドボールが拾えない。当然、前半はシュートらしいのは嶋田のミドル1本のみ、しかも公式記録では0本。メモリアルと大きく異なるメドウの距離感が感覚を狂わせるのか...

そしてそれは、我々サポーターも同じだったと思う。太鼓などの鳴り物が禁止で、なかなかスタジアム全体で拍手やリズムを合わせられず、声も揃えられない。後半になっても、局面を打開できず、ずるずるとヴェルディのペースに。何度か決定機を作られるものの、相手のミスに助けられ、辛うじて失点を許さない。このままドローか...と思い始めた89分、敵MF飯尾が個人技で持ち込み、強引に足を振り抜いたボールはゴール隅に転がってゆき...失点。反撃するが、時既に遅く、試合終了。東京Vに今季初勝利を献上してしまった。結局、シュート3本と、選手も観客も満足できない内容と結果。ここ2試合の好調さは影を潜め、3連敗した時のチーム状態に戻ってしまった様にも思えた。しかし、今季のチーム目標は『前進し続けること』。少しずつでも進化するチームを見せてくれると信じている。(ささたく)

双方ともピッチ状態を考慮してか、中盤を省略した縦ポンサッカーの応酬。面白みに欠け、どちらからもあまり得点の匂いがせずスコアレスドローなら御の字と思っていたときに飯尾の決勝弾を食らってしまった。最後は少し選手個々の技術の差が出てしまったかな。試合後の選手たちのコメントでピッチ状態に関して云々という言葉があったが、残念ながら今後ピッチ状態が飛躍的に良くなるという事はおそくないだろう。選手たちには少しでも早くメドウのピッチ状態に慣れて状態が悪いなら悪いなりのサッカーをしてもらいたいものだ。(岐阜の誇り)

4月18日の東京ヴェルディ戦から長良川球技メドウでのホーム戦開催が始まりました。従来の長良川競技場で開催していた時と運営面で違う部分が沢山有り、我々グリーンズも結構大変でした(苦笑)。

変更点でも特に大きなものは「バックスタンドへの入場にはチケットチェックがある」という点です。長良川競技場でもメインスタンドへ入場して頂く際にチケットチェックを実施していましたが、メドウではバックスタンド(ホーム・アウェー共に)でもチケットチェックを実施します。私はヴェルディ戦ではバックスタンド・ホーム側のチケットチェックを担当しましたが、皆様のご協力により何とか終了出来ました。これからはバックスタンドのお客様にはお手間を取らせてしまいますが、ご協力をお願いいたします。(シュナ)

## 連敗ストップは、「チャンスを活かした方が勝つ」という試合 北九州0-1岐阜【第09節】

FC岐阜はアウェイで北九州と戦い1対0で勝利。前半終了間際の西川選手のゴールを守り抜き勝利。アウェイでもしぶとく戦って勝ち点をつかむ事が大事。サポーターが一丸となってFC岐阜を盛り上げよう！FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

「九州は暑い」そんなイメージは実は間違いで、実際は日本海や大陸の影響で雪も降るし、寒さもキツイと知っていたが、それにしても...。黄金週を迎えたというのに、ナイター観戦には厳しい環境。この日、北九州に吹きつけた冷たい風は一日中やむことがなく、実際の気温より体感温度は5度近く低かったんじゃないかな？「レプリカ1枚じゃヤバイ」と思ったのだけど...。それでも、ホイッスルが鳴らされた後は一気にヒートアップ。気持ちもカラダもアツくなっていった。北九州のホーム・本城陸上競技場のゴール裏席は前売り800円という破格の値段。しかし、そのあまりにもなだらかな傾斜とピッチまでの遠さ。メインスタンドのデジタル時計は止まったままで、ホーム側ゴール裏にあるスコアボードはメドウと同様で、ホント見づらくてどうしようもない。メドウボックスはもちろん、サイドスタンドも傾斜があるとは言えないけれど、距離がない分臨場感はバツグンで本城とは比べべくもない。値段に納得というところか（苦笑）。

それでも、芝生のコンディションは本城の圧勝（爆）。まあ、そのせいで、応援に打ち込むよりほかはなく、おかげでカラダが温まった。結果はご承知の通りだが、ゴールの瞬間もネットが揺れたのがわかった程度。そんな状態で感想というのもおこがましいが、申し訳ないけど、北九州に負ける気はしなかった。失点するとしたら、カウンターとセットプレー。実際、それでアブナイ場面もあったわけだ。きっちり追加点を取っておきさえすれば、全くなんてこともない試合。今の北九州が2点取るイメージはない。なのに、グダグダな流れになったのは北九州のサッカーに付き合ったから。そして、シュートを撃つという気合いが足らなかったから。PA付近ではそんなにパスはつながらない。DFも余裕を持たせてはくれないよ？「オレが決める！」そういう気持ちで思い切ってシュートを撃とう！例え弾かれたって、そのセカンドボールからチャンスも生まれる。ゴールが決まるのが最高だけど、シュートで終わらないと、フラストレーションは溜まりまくる。次の草津戦では、積極的に狙ってほしい。メドウでの「初勝利をみんなで祝いたいね！（ぐん、）」

今節は、残念ながら所用によりTV観戦。うーん...良くも悪くも『相手のペースに合わせちゃう』のが、今のFC岐阜の特徴なのかな...と思ってしまう試合。試合開始早々、4分に嶋田がシュートして、よし今日は積極的な攻撃が...と思ったのだけれど、その後にはペースダウンして膠着状態に。しかも30分のセットプレーでは、GK野田がFKボールの目測を誤ってあわや失点の大ピンチ。45分と絶好の時間帯に西川が先制点を決めて前半を終えたけれど、後半は更に単調さが増してしまい、何だか両チームともお互いのミスに助けられている感じ。67分に洗一が得たPKで掴みかけた追加点が、相手GK水原に阻まれてしまうと、その後は（守備固めに入っているのだと思うけれど）ほぼ防戦ペース。とはいえ、無失点でしのご切って連敗脱出、貴重な勝ち点3を手に入れることができた。

ま、アウェイは面白い試合をしなくても、勝ってくれば問題ないと思う（笑）。問題はホーム戦。やはり選手には、ゴールへの執念や、勝利への決意を、僕らサポーターの前で魅せて（見せつけて）欲しい。そして、僕らも同じような気持ちで、選手を後押ししたいと思う。特に、メドウは選手と僕らの距離が近いピッチ。選手と観客が一体となって掴み取った勝利の歓喜は格別だろう。でも、ちょっとのネガティブな気持ちが、すぐにお互い相手に伝わってしまうようにも感じるの、僕だけだろうか。

ところで、観戦して思ったのだけれど。北九州の与那城監督とウチの守護神GK野田の師弟関係に触れるのは全然構わないのだけれど、それなら、北九州のFW池元友樹が、わずか2006年地域決勝の数ヶ月だけだったかもしれないけれど『俺たちの池元』だったことにも触れて欲しいなあ...わざと無視されたかなあ...（苦笑）。（ささたく）

遠征叶わず、TVでの観戦。「勝った」という結果だけだったような印象の試合。遠征続きで選手たちの疲労もピークではあっただろうが。相変わらずのパスミス、トラップミス。おまけに中盤でボールが落ち着かず、攻め急いでいる印象さえ受けた。もう少しじっくり組み立てながら相手陣内へ攻め入って攻撃していてもいいんじゃないのかな。それともそれは倉田さんの指向するサッカーじゃないのかな？前半の大島のバックヘッドがゴールの枠を捉えていたらいったいどうなっていたであろうか.....終盤は終始ハラハラしながら見ていた。さらに1点を取りに行くのか、1点をしっかり守りきるのが意思統一ができていないようにも感じた。ここら辺がよくなれば、サポーターも安心して見ていられることだろう。さて、GWに突入して試合も中2日、中3日と連戦が続く。前述したように選手たちの疲労も溜まっていることだろう。ここは何名か選手を入れ替えて、リフレッシュして戦ってみるのも1つの方法ではないだろうか？そろそろ「アノ」選手が必要となる時が来ている時だと思うのだが、果たして今日のメンバーはどうなるのだろうか？（岐阜の誇り）

本城陸上で初めて観戦したのは15年も前。ブランメル（現・ベガルタ仙台）がJFLに昇格した「地域決勝」の予選リーグだ。その次は3年前の九州リーグ。でも、ゴール裏からの観戦は初めての経験で。いやあ、こんなにもピッチが遠いとは。前売り800円も納得（苦笑）。

それと、『“スタジアムの空気”の作り方』が、DJの放送も、得点の掲示も、売店の内容も、サポの雰囲気も、なにかもが圧倒的な「これから感」に満ちている。ぼくらは2年前はこんなだったんだよなあ.....と、遠い目。この2年でFC岐阜はちゃんと「成長」してるんだ、と思った。

試合は、ルーズボールの奪い合いで1歩目の足で負けてしまふ。岐阜はアウェイ連戦だからね。相手の北九州も前節はアウェイだったけど、大分だもん。ただ、北九州からするとボールは得られてるんだから岐阜をつないで崩したりしてもよかったような気がするのだけれど、「攻め急いでくれた」ような感じがして、助かったかな。

前半終了間際に西川が抜け出してファーサイドのネットに蹴り入れてくれて岐阜先制。でも、さすがにあのゴール裏のスタンドの高さ（というか「低さ」）では、正吾とのワンツードとかはまったくわからず（苦笑）。それでも、まさにいい時間の得点。

後半の洗一のPK、あれがちゃんと決まっていたら当然だけど試合はもっとラクになった。でも失敗。その後、洗一はうまく切り替え出来なかったというか、イラついたプレーが出てきたんで、警告ももらったことだし、押谷への交代は正解だったかな。この借りは次の試合で返そう！>洗一。

結局、後半は攻撃されればなしという印象が残っちゃったけれど、散発的な攻撃の連続って感じだったから、「取られても1点かな？」という安心感はあった。それでも、勝ち点1と3とでは全然違う。キチンと凌いで勝ち点3を得ることが出来て、本当によかった。

試合終了後、九州リーグ（ニューウェーブ北九州）時代からの古株サポの友人が来てくれた。「100%完璧な『仕様どおりのギラヴァンツ』でした」とのこと。なるほど~（笑）。

あと、個人的には、やはり池元友樹だ。一昨年も昨年も横浜FCに在籍していたから、すでに何度も対戦しているのだけれど、やっぱりトモキといえは北九州。彼が地元（たしか小倉出身）の、九州リーグの「ニューウェーブ北九州」でブイブイ言わしてる（笑）時に「地域決勝」のレンタル補強（噂では8チームからオファーがあったらしい）でFC岐阜に短期移籍。この時の彼の活躍は、視ていたすべての岐阜サポの記憶にいまでも焼きついているだろう。

「北九州にいるトモキ」と戦う。戦って、勝つ。それが達成できたことが、とにかく嬉しかった。（吉田鑄造）

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.hon-p-woodream.com/>

## 昨年のお天杯、のようには行かず..... 千葉2-0岐阜【第08節】

FC岐阜はアウェイで千葉と戦い0対2で敗戦。力の差とは言いたくない。アウェイでもしぶとく戦って勝ち点をつかむ力をつけてほしい。リーグ戦はまだ始まったばかり。サポーターが丸となってFC岐阜を盛り上げよう！FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

4月25日の千葉戦は自宅でスカパーにて応援。個人的にはヴェルディ戦よりもゴールに向かう意識等選手の気持ちは感じる事が出来たので、一歩前進と考えたいですね（そう考えさせて下さい・・・苦笑）。

翌日以降いつも同様にあちこちのブログを見て廻りましたが、千葉のサポーターは「リベンジ成功！」と書く人が多く、少々ビックリしました。あんた方昨年のお天杯はそんなに悔しかったんですか？（苦笑）そんな風に思われていたなんて正直意外でした。（ジュナ）

しっかりリベンジされてしまいました。残念ながら実力差を感じずにはられない内容だったのではないのでしょうか。これまでの試合内容は守備にはある程度見通しが立ってきたけど、見返りに攻撃の迫力を相当失ってるなあ...と感じてます。北九州までの9戦で下位相手に落としたのは東京Vだけで取りこぼしはあんまりしないチームにはなったけど上位には歯が立ってないのも事実です。千葉戦を見た限りもう一枚も二枚も殻を破らないとよくて中位止まりでしょうね。今はその殻を破るための苦難の時なんだと思います。（ジュニア）

アウェイ用駐車場に一番乗り。そこからスタジアムに向かう途中にクラブ・ハウス。天然芝の、ピッチが2面できている照明付きの練習場。

道路をはさんで佇むフクダ電子アリーナ。工業地帯の中のそれは、総合運動公園内だったり、住宅街だったり、山の上だったりする国内の他のスタジアムとは異質の、一種独特な雰囲気を出している。勝ち点3とともに持ち帰りたい国内屈指の専用球技場だ。

ダンマクの設置は、なんとキックオフ4時間前。ふつうは開場後に設置させるか、早くても会場1時間前（キックオフ3時間前）。設置が早すぎて、手持ち無沙汰になると思いきや、フクアリはスタグルメも国内屈指と定評のあるスタジアム。「タッパー持参で」と巷でウワサの「喜作」のソーセージ

（400円）は実に絶品。サマナラのカレーやドネル・ケバブなど、長良川に勝るとも劣らない名物が目白押し。敵情視察を兼ねて、しばし束の間の喜びを楽しむ。こんなにステキなスタジアムまで、岐阜から車で6時間。九州に比べりゃ近いもんだ。いや～、来年も千葉とやりたいねえ（笑）。

肝心の試合も内容自体はそんなにワルくなかった。前半15分過ぎの正吾のシュート。そこに詰めてた洗一のシュート。どちらかが決まっていたら.....。試合をコントロールできた、とは言わないが、それでも先取点はウチの選手に余裕を与えていたことだろう。それでも、守備を崩されまくったわけじゃない。組織的に戦えた。あとは、アタックでの意思疎通。せっかく決定機になりそうなのに、出し手と受け手の呼吸がズレてチャンスを逃す場面がいくつもあった。これからも、厳しい試合が続く。ギリギリの所で、正確につなぐ。難しいことだけど、やりとげてほしい。

あ、それから。勝ってる時にメンバー変えるのはやりづらいけど、GWの日程は中3日、中2日と連戦が続く。若い選手が多いとはいえ、疲れと累積は溜まります。ローテーションも必要では？ということで、そろそろ、「緑のマタドール」どうでしょう？（ぐん、）

千葉側ゴール裏に掲げられた一発ダンマク。向こうのサポーターは相当に意識してたんだなあ（苦笑）。さて試合のほうはといえば、やはり力量の違いを見せ付けられてしまった。1失点目はきれいに崩されてのアレックスのゴール。あれは恭平でもノーチャンスだったろう。2失点目はワールドクラスといってもいいくらいのネットのFK。どちらも「あ～」と呻くしかなかったゴール。それに加えて、2点目が決まった後は千葉はいわゆる「流していた」ようにも見えた。それまできれいに連携が取れていた攻撃も急に雑になったようにさえ見えた。メンバーにしたって、巻や谷澤や林がベンチを暖めているようなメンツ。こんなチームがJ2にいちゃいけないよ（苦笑）。

岐阜は、東京V戦よりはゴールへの意識というものが高いように感じた。でもやっぱり大事なところでのパスミス、シュートミス.....これらが少しでも改善されていけば、このチームはもっともっとやれる。それと疑問に感じたのは、0-2と劣勢になった以降どうしてキドンを投入しなかったのかな？彼のフィジカルの強さに賭けてみてもよかったのでは？と少し感じた。（岐阜の誇り）

昨年の『岐大通』最終戦号で、ベストゲームに僕は「勝利して得られたものは非常にデカかった」と天皇杯4回戦・千葉戦を挙げた。クラブが良い方向に回り出したきっかけ（の一つ）だと思っている。今年も千葉への勝利を再現したい、が...内容は悪くはなかった。少なくとも、前節のホーム東京V戦よりは、数段いい試合を選手達は闘ったと思う。ただ、（認めたくはないのだが）相手が悪かった。天皇杯の屈辱を晴らすべく燃えていた千葉。しかも、J2に降格したにも関わらず、戦力が低下するどころか更に補強するなんて反則じゃね？だったら昨年補強しとけばよかったやん？（笑）的な千葉。FWネットの2点目のゴールなんか、ホントに反則級の凄いいFKだった。とはいえ、最初の決定機はウチにあった。勝負に「たれば」は禁物だけど、あれを決めていれば、昨年の再現ができたかもしれない。決めるべき時に決める。そういう僅かな差が、やはり重要なのだと再認識させられた試合だった。（ささたく）

## サポーター企画：「ゲーフラ祭！！」を開催いたします。

G (olden) W (eek) を、G (ifu) W (eek) に！  
今季、おそらく最も過酷な時期が、このGW連戦です。なんと15日間で5試合、ここで波に乗れるか否かが、今季のリーグ戦では重要です。昨年は、5月2日から約3ヶ月、ホーム11戦無敗で「長良川劇場」という言葉も生まれました。選手たちは、3日前の北九州戦を勝利して帰ってきてくれました。今年も、ここから連勝して勢いに乗りたいたいところです。そこで私たちは、本日「ゲーフラ祭！！」と銘打ち、みんなでゲートフラッグ（以下ゲーフラと略）を掲げて選手たちの後押しをしよう、という企画を行います。

キックオフ1時間前から、バックスタンドのフェンス裏（南側）の芝生エリアに、ゲーフラを並べて展示します。

キックオフ15分前から、ゲーフラは（バックスタンドで観戦される方に）貸し出しをいたしますので、遠慮なく声をかけてください（こちらからお願いする場合もございます）。

選手入場時のチャント『日曜日よりの使者』が始まりましたら、一斉にゲーフラを掲げ、一緒に歌ってください。

ハーフタイムや、試合終了後の選手挨拶の時にも、掲げてください。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。（サポーターズクラブ：G-style）

# ALADDIN

何も無い店だけど・・・  
心の花が咲く・・・  
何も無い店だけど・・・  
心癒される・・・  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

「いらっしやませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅  
から徒歩3分。

休：日曜日  
（今日はお休みです）

